### 1945年 1953年 1945年 1953年 1955年	科目基礎情報 科目番号 受業形態	0027													
要素形態		0027													
接触	受業形態	0037			科目区分	一般 / 必									
接頭	~/\/\ ⁽¹⁾	講義			単位の種別と単位	立数 履修単位	 詳位: 1								
対称	開設学科	環境都市工学科			対象学年 2										
2 日本語の	開設期	後期	後期			2									
割達日標	教科書/教材	り継続使用 、本体680 美堂、201	教科書: 『New Edition Grove English Communication II』文英堂、2017年、657円(検定済教科書) ※ 英語III A より継続使用 / ワークブック: 『New Edition Grove English Communication II WORKBOOK』文英堂、2017年、本体680 円+税 ※ 英語III A より継続使用 / 単語集: 『COCET 2600 理工系学生のための必修英単語2600』成業堂、2012年(初版)、本体1,700円+税 ※ 入学時より継続使用(英語科目共通) / 参考書: 『Zoom 総合英語』第一												
野連日標	担当教員	小澤 健志													
来続のプロと音との関係を理解できる。	 到達日煙														
理想的な到達しべいの目安	・英語の標準的な発音 ・英語の標準的な発音 ・中学で既習の1200記 ・自分での専門に関する ・対象では構文 ・高等学校で選指でのででででいる。 ・高み書きを通して行うできた。 ・毎分100語程度の速	を聴き、音を 語程度の語彙。 基本的な語彙 の文法示さに の領に でアラマヤケ物	模倣しながら発記と第1学年で学習にを習得する。 構文を定着させるいるレベルの文法 ションなどを読み、語文などを読み、	した1000語の語彙 5。 法事項や構文を習得 その概要を把握で	引する。 ごきる。	に、1000語程度	の語彙を新たに習得する。								
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 間き手に伝わるような、句・文に おける基本的なリンスかセイントネーショシ 音のつながりに配慮して の音説かできる。	・自分や身近なことに	ついて100語	程度の簡単な文章	を書くことができ	る。										
#個項目1	レーノリック		理想的が到達し	ベルの日弁	煙淮的か到達し	ベルの日弁									
平価項目2	評価項目1 発音		聞き手に伝わる。 おける基本的な ーション、音の	ような、句・文に リズムやイントネ つながりに配慮し	聞き手に伝わる。 おける基本的な! ーション、音ので	ような、句・文に リズムやイントネ つながりに配慮し	間き手に伝わるような、句・文に おける基本的なリズムやイントネ レーション、音のつながりに配慮し								
等学校学習指導要領に準じた文法	評価項目2 語彙		習指導要領に準める。	じた新出語彙、及 要となる英語専門	校学習指導要領(、及び専門教育(専門用語をほぼ	こ準じた新出語彙 こ必要となる英語	□ 等学校学習指導要領に準じた新出語□ 語彙、及び専門教育に必要となる□ 英語専門用語が習得できず、適切								
評価項目4	評価項目3 文法及び構文		等学校学習指導 や文構造を習得	要領に準じた文法	等学校学習指導等 や文構造を習得し 用できる。	要領に準じた文法 ン、ほぼ適切に選	学校学習指導要領に準じた文法や 文構造を習得できておらず、適切 な運用ができない。								
評価項目5 注語コミュニケーション(英語運用 分野に関する基本的な論文やマニコアルなどの概要を把握し、必要 お別に関する基本的な論文やマニコアルなどの概要を把握し、必要 は情報を読み取ることができる。	評価項目4 英語コミュニケーション (英語運用能力の基礎固め)		語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 また、平易な英語で書かれた文章 を読み、その概要を把握し必要な		語程度の速度で うに音読がほぼ また、平易な英語 を読み、その概要	聞き手に伝わるよ できる。 語で書かれた文章 要を把握し必要な	こ 説明で初語などの文章を毎月100								
教育方法等 ・特に正確な英語の読解力を養成するため、各 Lesson につき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・英語IVBと平行しつつ、『COCET 2600』の「単語番号 1501~2000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップのる。 ・「技術英検3級に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。 ・「実用英検」については、1年で準2級一次試験合格、3年で準2級合格が目標となるが、こちらについても継続で取り組むことになる。 受業の進め方・方法 ・総合的な英語力を養うため、ワークブックを併用し、各Lessonにつき、授業を進めていく。 ・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 ・後期中間試験(まで):単語番号 1501~1750 (250語) 単語テストは「50語/回」×5回 ・後期定期試験(まで):単語番号 1751~2000 (250語) 単語テストは「50語/回」×5回 ※中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。 ・常に「100%正確に英文を理解する」ことを心掛け、細かな点も決しておろそかにしないこと。 ・配布資料等の整理およびファイルのため、「A4判・40ポケット以上」のクリアブック(安価なもので良い)を各自 必ず用意すること。 ・評価は「中間試験35%+定期試験35%+課題30%」で行うが、各試験において COCET 2600 を7%(合計14%)を ・評価は「中間試験35%+定期試験35%+課題30%」で行うが、各試験において COCET 2600 を7%(合計14%)を ・中間試験および定期試験は100点満点で実施するが、80点は発音・単語・熟語・文法事項等に関する教科書等での 習事項についての問題、20点は『COCET 2600』からの単語の意味を確認する問題となる。 ・課題は、ブリントによる本文訳課題(4点/課)と Microsoft Forms によるワークブック課題(2点/課)となる。 授業の属性・履修上の区分	評価項目5 英語コミュニケーション(英語運用 能力向上のための学習)		分野に関する基本的な論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要		分野に関する基準 ユアルなどの概要 な情報を読み取る	本的な論文やマニ 要を把握し、必要	」 │分野に関する基本的な論文やマニ								
対育方法等 ・特に正確な英語の読解力を養成するため、各 Lesson につき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・英語IVBと平行しつつ、『COCET 2600』の「単語番号 1501~2000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップ・図る。 ・「技術英検 3 級に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。 ・「実用英検」については、1年で準 2 級一次試験合格、3年で準 2 級合格が目標となるが、こちらについても継続て取り組むことになる。 ・総合的な英語力を養うため、ワークブックを併用し、各Lessonにつき、授業を進めていく。・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 後期中間試験(まで):単語番号 1501~1750 (250語) 単語テストは「50語/回」×5回後期定期試験(まで):単語番号 1501~1750 (250語) 単語テストは「50語/回」×5回※中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。 ・常に「100%正確に英文を理解する」ことを心掛け、細かな点も決しておろそかにしないこと。・配布資料等の整理およびファイルのため、「A 4 判・40ポケット以上」のクリアブック(安価なもので良い)を各自必ず用意すること。・評価は「中間試験35%+定期試験35%+課題30%」で行うが、各試験において COCET 2600 を 7 %(合計14%)を、中間試験および定期試験は100点満点で実施するが、80点は発音・単語・熟語・文法事項等に関する教科書等での習事項についての問題、20点は『COCET 2600』からの単語の意味を確認する問題となる。・課題は、ブリントによる本文訳課題(4点/課)と Microsoft Forms によるワークブック課題(2点/課)となる。	学科の到達目標項	目との関係													
 ・特に正確な英語の読解力を養成するため、各 Lesson につき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・英語IVBと平行しつつ、『COCET 2600』の「単語番号 1501~2000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップ図る。 ・「技術英検3級に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。	準学士課程 3(2)														
 ・特に正確な英語の読解力を養成するため、各 Lesson につき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・英語IVBと平行しつつ、『COCET 2600』の「単語番号 1501~2000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップ図る。 ・「技術英検3級に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。	教育方法等														
受業の進め方・方法 ・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 受業の進め方・方法 ・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テスト は「50語/回」× 5回 後期定期試験(まで): 単語番号 1751~2000 (250語) 単語テスト は「50語/回」× 5回 ※ 中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。 主意点 ・常に「100%正確に英文を理解する」ことを心掛け、細かな点も決しておろそかにしないこと。 ・配布資料等の整理およびファイルのため、「A 4判・40ポケット以上」のクリアブック(安価なもので良い)を各自必ず用意すること。 ・評価は「中間試験35%+定期試験35%+課題30%」で行うが、各試験において COCET 2600 を 7 %(合計14%)含。 ・評価は「中間試験35%+定期試験は100点満点で実施するが、80点は発音・単語・熟語・文法事項等に関する教科書等での認事項についての問題、20点は『COCET 2600』からの単語の意味を確認する問題となる。 ・課題は、ブリントによる本文訳課題(4点/課)と Microsoft Forms によるワークブック課題(2点/課)となる。 受業の属性・履修上の区分	概要	・英語IVBと平行しつつ、『COCET 2600』の「単語番号 1501~2000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップを 図る。 ・「技術英検3級に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。 ・「実用英検」については、1年で準2級一次試験合格、3年で準2級合格が目標となるが、こちらについても継続し													
・配布資料等の整理およびファイルのため、「A 4判・40ポケット以上」のクリアブック(安価なもので良い)を各自 必ず用意すること。 ・評価は「中間試験35%+定期試験35%+課題30%」で行うが、各試験において COCET 2600 を 7 %(合計14%)含 ・中間試験および定期試験は100点満点で実施するが、80点は発音・単語・熟語・文法事項等に関する教科書等での 習事項についての問題、20点は『COCET 2600』からの単語の意味を確認する問題となる。 ・課題は、プリントによる本文訳課題(4点/課)と Microsoft Forms によるワークブック課題(2点/課)となる。	受業の進め方・方法	・授業の冒 後期中間 後期定期	・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 後期中間試験(まで): 単語番号 1501~1750 (250語) 単語テスト は「50語/回」× 5回 後期定期試験(まで): 単語番号 1751~2000 (250語) 単語テスト は「50語/回」× 5回												
受業の属性・履修上の区分	主意点	・常に「10 ・配布資料 必ず用意す ・評価は「 。	00%正確に英文を 等の整理およびこ ること。 中間試験35%+5 および定期試験(理解する」ことを アイルのため、「 E期試験35%+課 は100点満点で実施 気は『COCET 260	心掛け、細かな点: A 4 判・40ポケッ 題30%」で行うが、 iするが、80点は発 0』からの単語の意	も決しておろそか ト以上」のクリン 各試験において 音・単語・熟語 強味を確認する問	Nにしないこと。 アブック(安価なもので良い)を各自で COCET 2600 を7%(合計14%)含 ・文法事項等に関する教科書等での学 題となる。								
		省事項にプ	プロンルにトマナ	・ 中部 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	甲)上 Microcoft Ca	rmc [FZ]	ノ / / / / / / / / /								
		・課題は、	プリントによる本	文訳課題(4点/詞	果)と Microsoft Fo	rms によるリー	グノック課題(Z 点/ 課)となる。 								

週ごとの到達目標

授業計画

週

授業内容

		1週	ガイダンス検定試験解説				本授業に関わる学習等に関わる理解を深める。 TOEIC L&R に関わる理解を深める。			
		2週	Lesson 6 Iceland				教科書の内容を理解し 文型や文法事項を身(ン、単語や熟語を覚え、併せて、 こつける。		
		3週	Lesson 6 Iceland				教科書の内容を理解し 文型や文法事項を身(ン、単語や熟語を覚え、併せて、 こつける。		
	3rdQ	4週	Lesson 7 Which Jam Wo	ould Yo	ı Like?		教科書の内容を理解し 文型や文法事項を身(ン、単語や熟語を覚え、併せて、 こつける。		
		5週	Lesson 7 Which Jam Wo	Lesson 7 Which Jam Would You Like?			教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。			
		6週	Lesson 8 Paper Building	Lesson 8 Paper Building				教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。		
		7週	Lesson 8 Paper Building	Lesson 8 Paper Building				教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。		
後期		8週	中間試験	中間試験						
		9週	Lesson 9 Lunch Delivery	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai			教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。			
		10週	Lesson 9 Lunch Delivery	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai			教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。			
		11週	Lesson 10 Saving Wildlife	Lesson 10 Saving Wildlife from Global Warming			教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。			
	4thQ	12週	Lesson 10 Saving Wildlife	e from (Global Warming		教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、 文型や文法事項を身につける。			
		13週	技術英検3級過	英検3級過去問等			技術英検3級の過去問等を解き、試験対策を行う。			
		14週	実用英検準2級	実用英検準2級過去問等			実用英検準2級の過去問等を解き、試験対策を行う。			
		15週	定期試験	定期試験						
		16週	答案返却・解答	答案返却・解答と解説						
評価割合	<u> </u>									
			試験 (教科書等)		試験 (COCET 2600)	諄		合計		
総合評価割合			56		14	30		100		
基礎的能力			56		14	30		100		